



東日本大震災 から 10年

JRC オンライン 語り部 LIVE

東日本大震災からまもなく10年。被災地では、震災の記憶が風化していると強く感じています。「震災では、大切な人がたくさん亡くなってしまった。こんな経験は、もう二度と誰にもして欲しくない。」戻ることのない命や風景から託されたメッセージを今、そして未来に繋げていくため、私たちは公益社団法人3.11みらいサポートとタッグを組み、全国のJRC加盟校を対象に、オンラインで語り部さんによる生の声を“LIVE配信”することにしました。

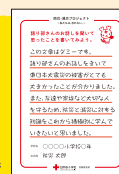
災害は今日も明日も自分の身に起こりうることだと「気づき」、どう行動するべきか「考え」、そのための備えとして「実行」する貴重なきっかけ作りになると考えています。また、それら一連の思考を見える化するための「Actionカード」をお送りしますので、指導の一環としてもご活用ください。

災害から、自分自身と大切な人を守るために。多くの方のご参加をお待ちしております！

「Actionカード」について

お申込みいただいた学校様には事前に「Actionカード」をお送りします。児童・生徒のみなさまにオンライン語り部LIVEで聞いた話の感想や「自分は何をするか」の宣言を記入いただくなど、ご活用ください。

※Actionカードイメージ



防災・減災プロジェクト
～私たちは、忘れない。～



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

宮城県支部



語り部さんプロフィール

私がいつもラジオを持っている理由



さとう とみそう 佐藤 富蔵さん
震災の時は、仕事を早期退職し自宅を過ごしている時だった。海から約2km、避難所までは50mほどの場所に自宅があったが逃げ遅れ、母親と共に津波に飲み込まれた。震災後、避難の判断が遅れた理由を考え、伝え続けている。

①「行きます」と「ただいま」は魔法の言葉 ②命の犠牲の上に成り立つ教訓はあってはならない



さとう みか 佐藤 美香さん
あの日、石巻市にある私立幼稚園の判断ミスにより通っていた6歳の娘さん・愛梨ちゃんが犠牲となった。震災後は、教訓を多くの人たちと共有するため「日和幼稚園遺族有志の会」を立ち上げ、全国への発信を続けている。

知らないことはこわいこと 私の震災体験



さとう まき 佐藤 麻紀さん
津波により自宅も含め地区(石巻市雄勝)全体が流出。同じ地域に住んでいた母親と祖母が犠牲となった。自身の後悔と共に、当時、小学校6年生と3年生だったお子さんの経験やその後についても語る。

わかっていなのに、あの時できなかったこと



くさじま まさと 草島 真人さん
津波により自宅も含め地区(石巻市南浜・門脇)全体が流出。地震後、2度も海に近い自宅に戻ったため、津波に襲われギリギリで避難をした経験を持つ。なぜあの時、戻ったのか自分の行動を分析し伝え続けている。

あなたの“ふるさと”はどこですか？



たかはし きょうみ 高橋 匡美さん
震災により、ふるさとの街並みは失われ住んでいた両親が犠牲となった。その心の傷から自宅に籠る日々が続いた。2014年から経験を語りはじめ、現在「命のたかりべ」として、「今」を生きる大切さを伝えている。

災害時に失敗しない・後悔しないためには？



あべ じん 阿部 任さん
震災時は高校1年生。石巻市門脇の実家で祖母と2人の時だった。裏山に避難せず2人で2階にいたところ、家ごと流され9日後に救出された。判断を誤り、多くの人に迷惑をかけてしまったと後悔し経験を語っている。

伝えたいこと 津波がおそった寒い夜の話



たかはし しょうこ 高橋 正子さん
津波により自宅も含め地区(石巻市長面)全体が流出。当時、自宅には高校生と義理の母親がいたが、仕事先から戻れず2日間連絡が取れなかった。自身の経験とともに息子さんも含めた地域の避難状況についても語る。

海になった街で おっかあ(母)の奮闘記



さんじょう すみえ 三條 すみえさん
津波により自宅も含め地区(石巻市長面)全体が流出。3月1日に高校を卒業し就職先も決まっていた息子(三男)さんを亡くした。2017年から語り部として、自身の経験と共に地域への想いを伝えている。



スケジュール 特記のない場合、①②で配信内容は同じです。

小学校(3,4年生) ①11:00~11:30 ②13:30~14:00

- 2/10[水] 『「行きます」と「ただいま」は魔法の言葉』
語り部/佐藤美香さん
- 2/18[木] 『知らないことはこわいこと 私の震災体験』
語り部/佐藤麻紀さん
- 2/26[金] 『伝えたいこと 津波がおそった寒い夜の話』
語り部/高橋正子さん

中学校 ①11:00~11:30 ②13:40~14:10

- 1/13[水] ①『命の犠牲の上に成り立つ教訓はあってはならない』
語り部/佐藤美香さん
②『災害時に失敗しない・後悔しないためには?』
語り部/阿部任さん
- 1/21[木] 『私がいつもラジオを持っている理由』
語り部/佐藤富蔵さん
- 1/29[金] 『わかっていなのに、あの時できなかったこと』
語り部/草島真人さん

小学校(5,6年生) ①11:00~11:30 ②13:30~14:00

- 1/19[火] 『災害時に失敗しない・後悔しないためには?』
語り部/阿部任さん
- 1/27[水] 『知らないことはこわいこと 私の震災体験』
語り部/佐藤麻紀さん
- 2/4[木] 『あなたの“ふるさと”はどこですか?』
語り部/高橋匡美さん
- 2/12[金] 『伝えたいこと 津波がおそった寒い夜の話』
語り部/高橋正子さん

高校 ①14:30~15:00 ②15:30~16:00

- 3/3[水] ①『私がいつもラジオを持っている理由』
語り部/佐藤富蔵さん
②『わかっていなのに、あの時できなかったこと』
語り部/草島真人さん
- 3/5[金] 『海になった街で おっかあ(母)の奮闘記』
語り部/三條すみえさん
- 3/18[木] ①『命の犠牲の上に成り立つ教訓はあってはならない』
語り部/佐藤美香さん
②『あなたの“ふるさと”はどこですか?』
語り部/高橋匡美さん



配信にあたっての留意点

ZOOMを使ったLIVE配信を行いますので、PC等でインターネット接続ができる環境が必要です。1教室につき1回線の接続が目安です。



公益社団法人
3.11みらいサポート

震災直後に石巻に駆け付けたNPO・NGOの活動サポートのために石巻で設立。時間の経過とともに徐々に「震災支援の連携から震災伝承の連携へ」活動をシフトし、現在は「つなぐ 3.11の学びを生きる力」をミッションに、震災学習プログラムや伝承施設の運営などを通して、災害時に大切な命が守られる社会を目指し活動している。



WEBからカンタン！ 参加お申込み

右のQRコードから申込フォーム(<https://bit.ly/jrckataribeonline>)にアクセスいただき必要事項をご記入の上、お申し込みください。質問等がありましたら下記担当までご連絡ください。

日本赤十字社宮城県支部組織振興課 佐藤 w-sato@miyagi.jrc.or.jp TEL 022-271-2252

- お申込みの受付は各開催日の2週間前までとします。
- 1回の配信につき、接続可能な回線が100回線となっておりますので、先着順に参加を受け付けます。
- 参加決定校には参加用URLと資料をお送りします。当日はURLよりご参加ください。

申し込みはこちら



日本赤十字社 宮城県支部
Japanese Red Cross Society

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 組織振興課
TEL. 022-271-2252 FAX. 022-275-3004
ホームページ <http://www.miyagi.jrc.or.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/redcrossmiyagi>
右記のQRコードを読み込むことでホームページにアクセス

